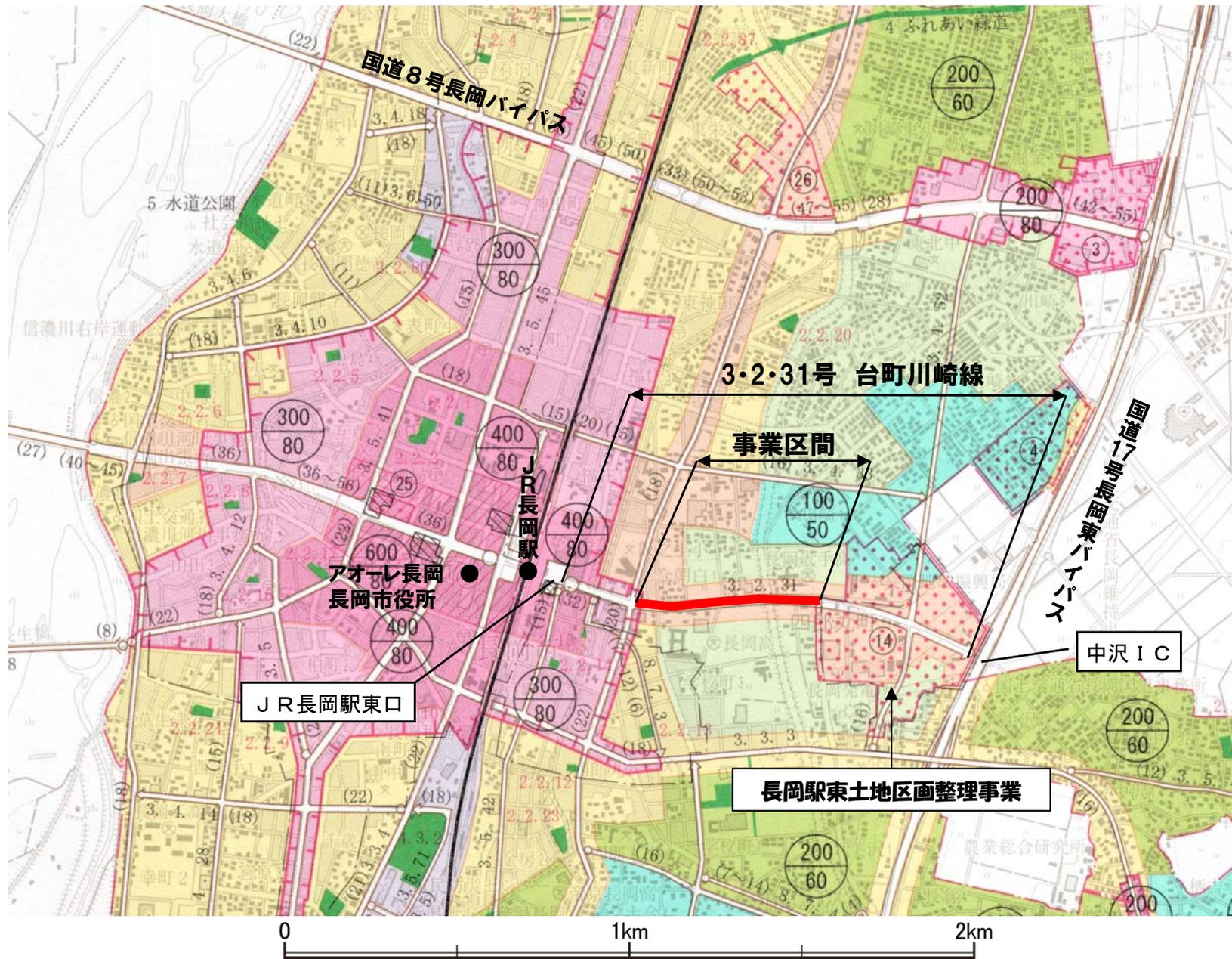


事業位置図

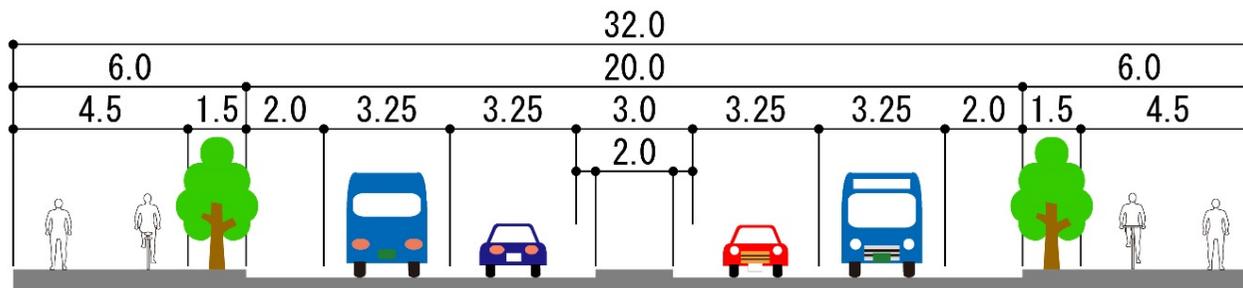


全体図(平面図・横断面図・縦断面図)

平面図



標準断面図



事業前写真



▲航空写真



▲街並み



▲車道部へはみ出して歩く歩行者



▲車道部を走行する自転車

事業後写真



▲航空写真



▲街並み



▲学校用地と一体的に整備された台町川崎線を活かしたイベント（体育祭）



▲自歩道を快適に走行する自転車

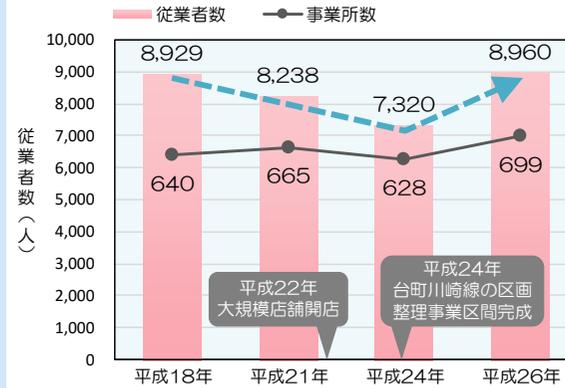
台町川崎線の事業効果アピール資料

■整備効果

1. 土地区画整理事業と連携した市街地形成（保留地処分面積の売却率100%）による雇用創出と人口増加に寄与。既成市街地においても従業者・人口増加もあり。
2. JR長岡駅と周辺の高校・事業所等を連絡し、通勤・通学や都心地区への買い物など歩行者・自転車交通の円滑性・安全性・快適性が向上。
3. 第1次緊急輸送道路の国道17号と、JR長岡駅や国・県等・市の防災機関を災害時に道路閉塞の可能性の低い広幅員道路（32m）で直結するほか、周辺に避難所も分布、地域防災力の向上に寄与。

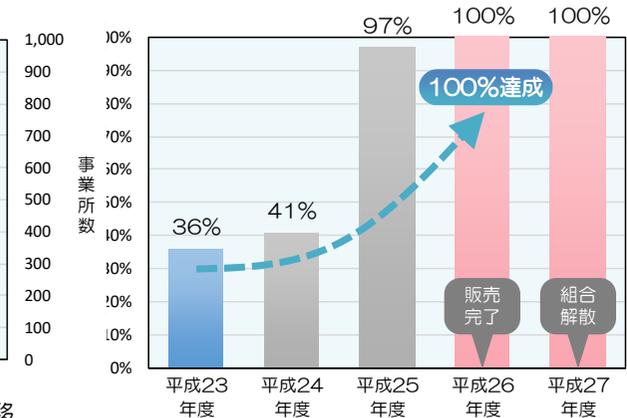
■その他の事業効果

- 1) 植樹帯により市街地の緑のネットワーク（緑の基本計画に位置づけあり）を形成し、都市景観の向上に寄与。
- 2) JR長岡駅東口に発着するバス路線の迂回が解消されたほか、広い歩道によりバス待ち空間の快適性も向上し、地域公共交通の活性化に寄与。
- 3) 広い路肩や植樹帯により除雪作業が効率化し、冬期交通確保に寄与。



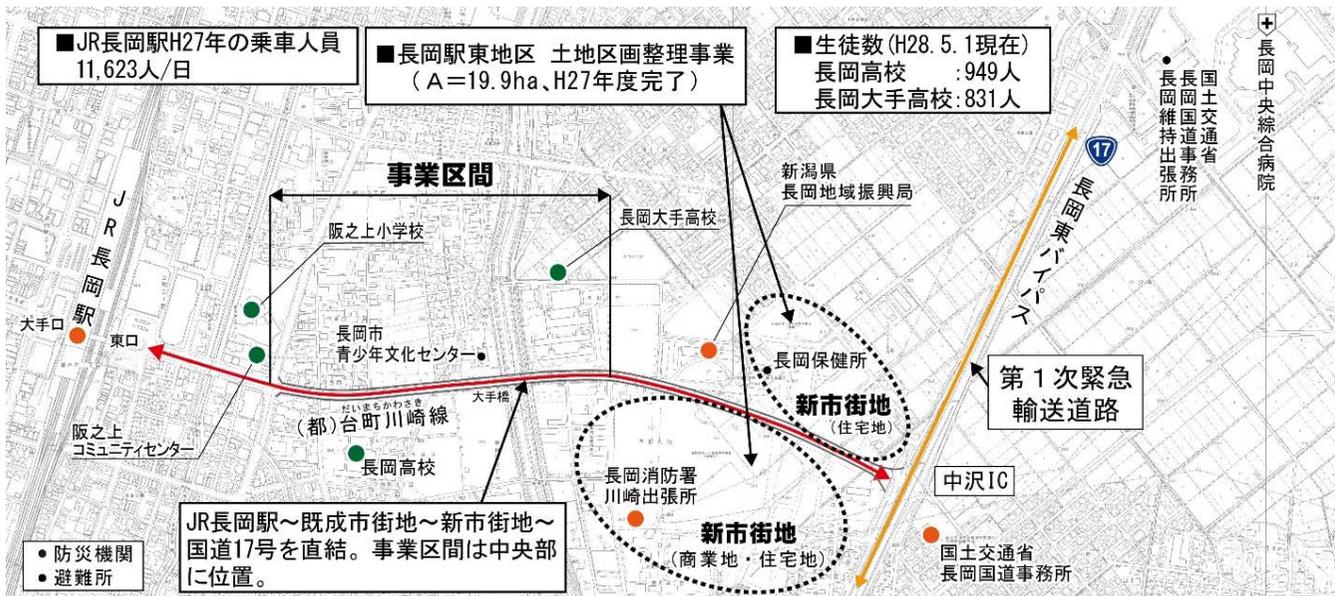
台町川崎線周辺地区の事業所・従業者数の推移

資料) 総務省：経済センサス



保留地処分面積の売却率

資料) 長岡市提供データ



■事業概要

事業名 : 長岡都市計画道路事業 台町川崎線
 路線名 : 3・2・31号 台町川崎線
 事業箇所 : 長岡市今朝白1丁目～沖田2丁目
 事業延長 : 623m (うち橋梁部38.5m)
 幅員 : 32m
 総事業費 : 約4.4億円
 事業期間 : 平成18年度～平成28年度

■交通量調査結果

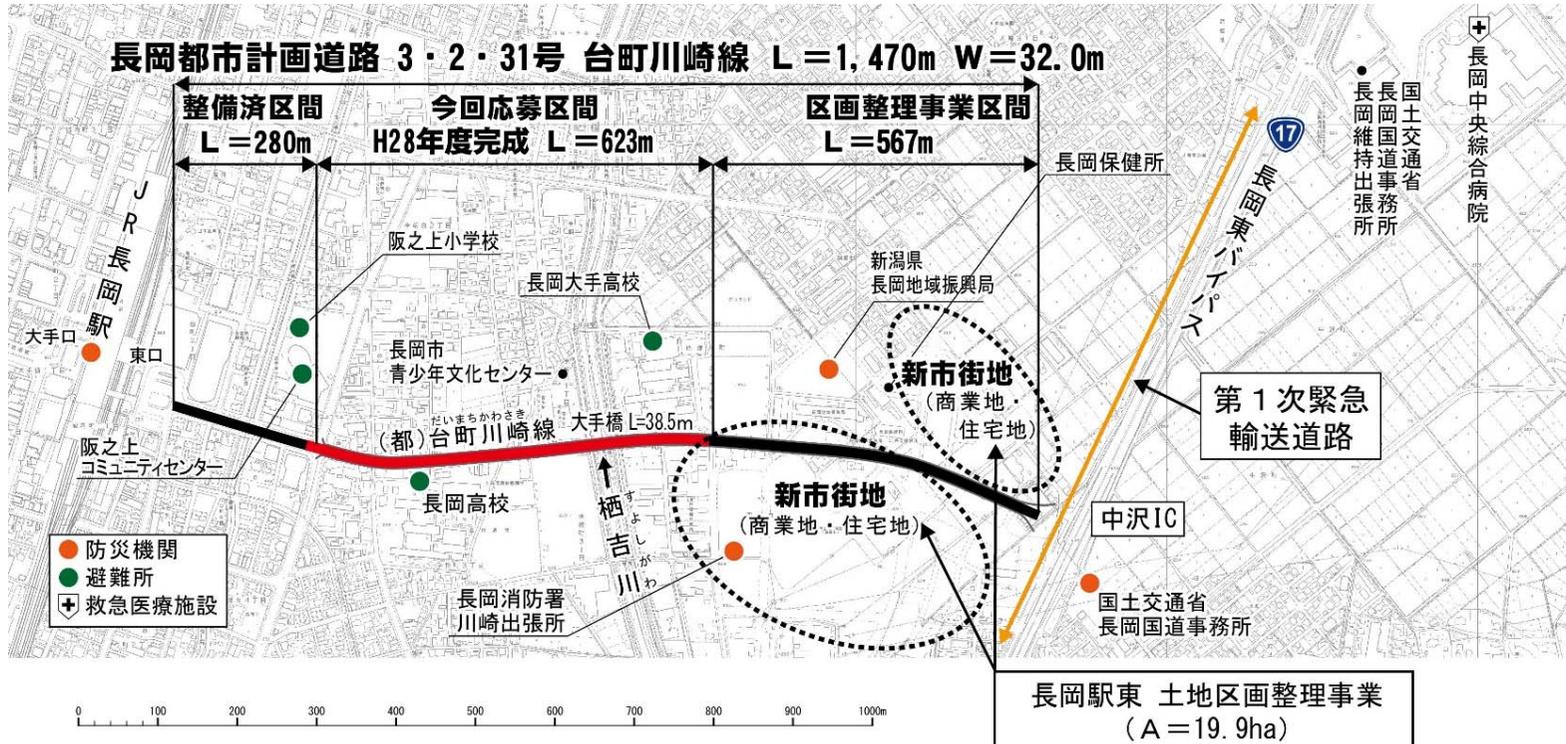
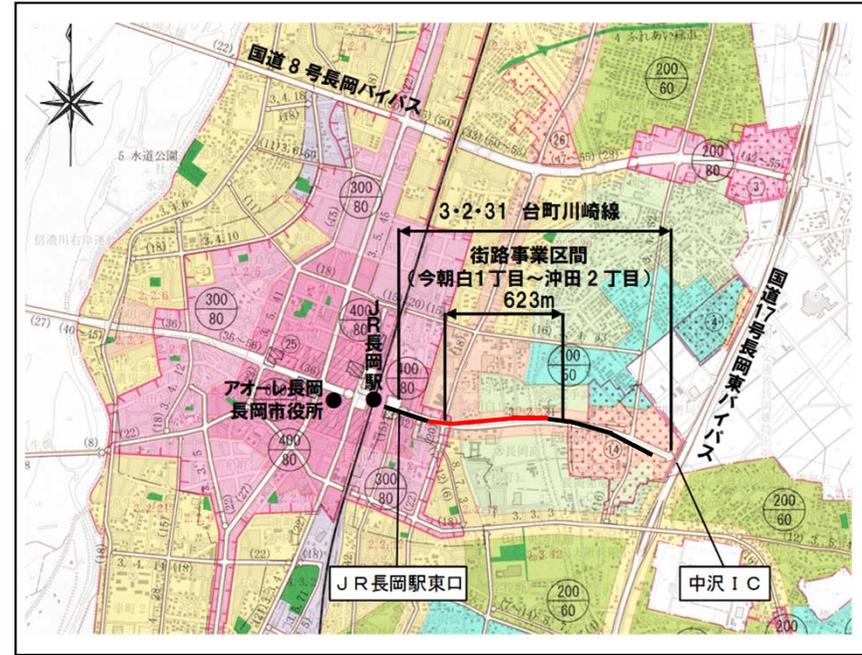
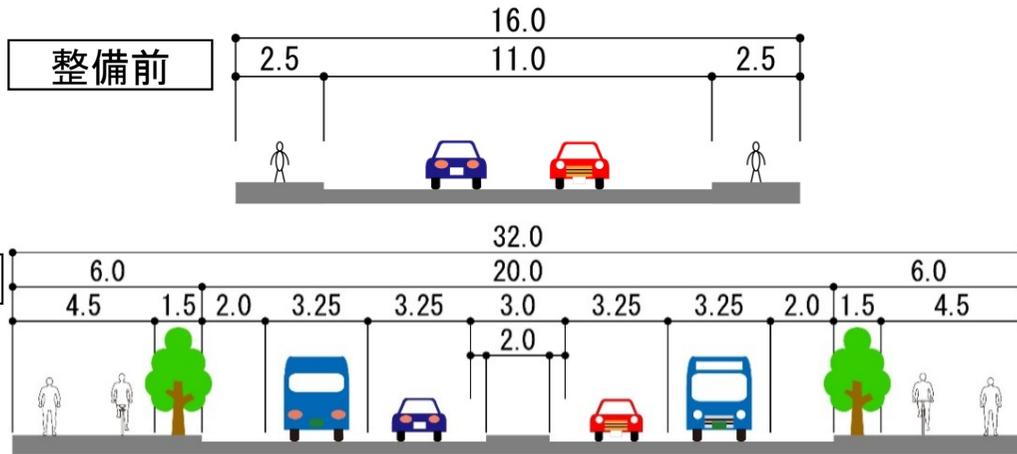
[事業後、H28.6.10(金)、実測]

自動車 : 7,615台/12h
 歩行者 : 1,800人/12h
 自転車 : 1,018台/12h

路線全体の進捗状況

長岡都市計画道路 3・2・31号 台町川崎線

横断面図



都市計画図

